

その燈を、未来へ
新たな学びの場『白雲館』の建設工事が、本格的に動き出しました。

安全祈願法要の様子



新校舎 白雲館

創立125周年記念事業の現状ならびにご協力のお願い

完成イメージ



◀寄附の詳細は
こちら

2026 (令和8) 年11月に創立125周年を迎える世田谷学園では、「伝燈」というキャッチコピーのもと、「新校舎建設等施設の充実」・「校史の編纂と記念誌発行」・「教育プログラムの充実」・「クラブ活動の充実」・「同窓会のさらなる活性化」を5本の柱に掲げ、記念事業を進めております。

その柱の一つであり、本記念事業の目玉でもある新校舎「白雲館」は、昨年12月に安全祈願法要を執り行いました。今年1月8日、3学期の開始とともに始まった工事は現在、基礎工事が終了し、来年2月末の竣工を目指しております。

連綿と培われ、育まれてきた燈を伝える学園のさらなる発展のため、今後とも皆様のご理解とご協力を賜りますよう、衷心よりお願い申し上げます。

皆様の
ご支援のもと、
工事は
安全第一に心がけ、
順調に進んで
おります。

◀上空より



今回の特別号は、もう一つの記念事業である「クラブ活動の充実」、なかでも強化指定部の取り組みを紹介します。学園では、硬式野球部・高校バスケットボール部・空手道部を強化

指定部とし、この3部には高校入試で特待生制度を設けて、活動をバックアップしています。この制度を活用することによって、選手層のさらなる充実・強化に努めるとともに、全国規模の

大会での活躍が期待されています。

誌面では、この3部の監督や顧問より寄せられた、創立125周年に向けた意気込みを紹介します。

硬式野球部



平素より硬式野球部に対し、多大なるご支援を頂いている曹洞宗・同窓会をはじめとする学園関係各位の皆様方に、深く感謝の意を表します。

現在の部員は6年生27名、5年生27名、4年生23名の計77名で、平日はそれぞれの部員が限られた環境の中で創意工夫して、練習に取り組んでいます。また、土日祝日はチームを3つに分けて全員出場の練習試合を行い、お互いに切磋琢磨しています。このような選手たちの活

動はまさに学園のモットーである「明日をみつめて 今をひたす」に」の実践です。チームの目標である「甲子園出場」を再び実現するために、今やるべきことを明確にして、ひたむきに継続して努力することが重要だと信じ、日々練習に取り組んでいます。監督としても、選手たちの日々の小さな積み重ねがやがて大きな力になると信じています。

高校野球は一発勝負です。1球、ワンプレーで

勝負が決まります。つまり、勝敗は紙一重で決まるのです。そのような中で勝ち上がっていくためには、単に選手個々の力だけでなく、勝つために必要な戦略・戦術を身につけること、また、どんな相手と対戦しても、どんな試合展開になっても、それに対応して力が発揮できる強いメンタルが必要になってきます。このような力をつけるために監督として心がけることは、選手の自立心を育てることです。選手たちが自ら考え、自ら発信し、自ら実践していくという自立したチームをつくるのが大切だと思います。これは簡単に実現できることではありませんが、選手と共に日々の小さな積み重ねを大切に、「甲子園出場」という強い気持ちを忘れずにしっかりと練習に取り組んでいきます。どうぞ今後とも相変わらずのご支援を宜しくお願い申し上げます。

(監督 成瀬 智)

高校バスケットボール部は現在6年生4名、5年生3名、4年生11名の計18名で活動しています。昨年度の成績は東京都高等学校総合体育大会兼インターハイ予選ベスト32、新人戦第1支部大会ベスト8、新人戦本大会ベスト32という結果でした。

日々の練習メニューは、月曜日に自主練習、火曜日から土曜日は全体練習、日曜日は全体練習または練習試合というスケジュールです。現在はインターハイとウィンターカップ出場を目標に、充実した環境のもと、基礎練習や対人練習といった様々な活動を日々行っております。とは言え、東京都の強豪校と比べて部員数が少なく、少数精鋭で活動しているチームです。そこで一人ひとりが精神と身体を鍛え上げるとともに、競技に対するモチベーションをあげ、部員が一丸となって、目標達成に向け努力を重ね



高校バスケットボール部

ています。

注目してほしい点は、世田谷学園バスケットボール部の持ち味である「走るバスケットボール」を展開するところです。歴代の先輩方が築き上げてきた「走るバスケットボール」を現在のチームでも継承しています。チーム一丸となってゴールを守り、素早い攻めで得点を重ね

ていく姿にご注目ください。

長い歴史と伝統のある本学園。そのクラブ活動に携わらせていただいていることを、選手・スタッフ一同とても誇りに思っております。今後とも、高校バスケットボール部へ応援のほどよろしくお願いいたします。

(顧問 関根 大輔)

空手道部



2024年度、中学空手道部は全国中学生空手道選手権大会にて、形競技は6大会連続出場、組手競技は個人・団体共に初出場を果たしました。この経験を活かし、今夏の全国中学生空手道選手権大会では上位入賞を目指し、さらに精進してまいります。

また高校空手道部は、個人組手競技において、アジアJr大会と世界Jr大会という国際大会出場を果たし、アジアJr大会においては銅メダルを獲得。個人形競技では全国高等学校空手道選抜大会並びにインターハイで第3位という結果を残しました。しかし、団体組手競技では

全国高等学校空手道選抜大会でベスト16、団体形競技では第5位という結果に終わりました。

もちろん個人競技で活躍することも大切なことであり、部員個人個人が高い意識を持って目標を立て、努力を積み重ねておりますが、やはり部活動というチームで練習に励んでいる以上、団体競技で全国制覇を果たすという目標を第一に掲げております。

来年迎える世田谷学園の創立125周年。中学空手道部は全国中学生空手道選手権大会上位入賞を目標に、高校空手道部は必ずや全種目で全国制覇できるようチームの強化はもちろん、新入生のレベルアップや意識改革を行い、チーム一丸となって「明日をみつめて 今をひたす」に取り組んでまいります。

(顧問 蚊野 顕佳)